

一般財源での対応に疑問 全会一致で否決



反対討論を述べる大城戸議員

反対討論

大城戸議員

この林業経営100年整備計画については村長の公約でもありました。内訳では空中写真立体視データ作成、森林現況把握、村有林整備方針・計画作成となっているが、施策の企画立案や指導といった政策に関わる林業アドバイザーも決まらない中で、過疎債の見通しが立たない中から、一般財源で事業をスタートさせることに疑問があります。

村民の代表である私は、村民に説明する責任があるが、これまでの村長の説明では十分納得できないし、村の将来に関わる貴重な財源の使い道について、この事業の必要性も村民の理解が得られるとは思いません。

私は村民の声を村当局に届ける責任もあります。今後、どのように対処していくのか、はっきり、その道筋が見えない状況では、この林業経営100年整備計画作成委託料は認められません。

この100年整備計画の財源については、過疎対策事業債を活用することで当初予算に計上してあります。しかし、財源の見通しが立たなくなつたため、一般財源で作成したいという説明でした。しかし、委員からは「当初の説明とは違ひ、裏付けのない予算計上であつたのは」「説明が不足している」という意見が出されました。

●平成29年度上小阿仁村国民健康保険診療施設勘定特別会計補正予算
8月より、杉風荘の嘱託医に替わり、診療所の柳先生が対応することから、総額60万8千円を追加し、補正後の総額を1億2279万4千円とするものです。

専決処分報告

2議案

◆部改正
医師の嘱託医としての勤務について手当を支給する必要があるため、所要の規定を整備するものです。

◆地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての陳情
（提出者）連合秋田大館地域協議会
議長 碓谷 博人

陳情2件

特別会計

特別会計補正予算は、4つの特別会計で総額1164万5千円を追加。補正後の総額は12億8309万4千円となりました。

採択

9月定例会では2件の陳情を審査しました。

◆地方財政の充実・強化を求める意見書

（意見書提出先）内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長

◆「全国森林環境税」の創設に関する意見書
（意見書提出先）内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、内閣府特命担当大臣、経済産業大臣

会長 板垣 一徳
議員連盟 全国森林環境税創設促進

◆「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情
（提出者）

意見書2件送付

質問

林道・作業道の維持管理

十分と言えるか

村長

基幹的な路線維持

事業計画によつて進める



【北林義高議員】

出ているが、作業道はどうか。村にも臨時の作業員もいるが、作業員だけで間に合はないのであれば、各集落や業者に委託を考えてみては。

林道の側溝も手付かずのままで、碎石を入れてローダで敷き均し

をしても、雨で直ぐに穴になる。前にも質問したが、グレーダをかけることで側溝も掘ることもでき、路盤補正もでき、傷落して、車が通行できない所もある。林道・作業道を新設しても、後の管理が悪ければ直ぐに通行できなくなる。村道はパトロールを

委託しているので報告書が



年次計画により整備されている林業専用道
(多々羅八森沢線)

いる林道は、現在、27路線43752m、間伐事業等により開設した作業道は34路線、28770mである。林道については、4月から職員によるパトロールを毎月実施して、草刈りや補修

等の維持管理に努めている。作業道については、間伐・皆伐事業で開設したものであり、保育事業が完了すると維持管理を実施していないのが現状である。



木材がふんだんに使用されている森林管理署上小阿仁支署（9月11日議会視察）

北林議員

村には森林管理署で管理する林道・作業道があり、事業があれば補修をしている。村管理を見る限り、草木が生え、法面が崩落して、車が通行できない所もある。林道・作業道を新設しても、後の管理が悪ければ直ぐに通行できなくなる。村道はパトロールを

委託しているので報告書が

村長 村で管理して

秋田杉の燃えにくい柱や梁なども開発され、来年開業する能代市の「道の駅ふたつい」に耐火柱の導入が決まり、3、4階建ての木造建築などの実現も目指している。森林管理署上小阿仁支署にも、たくさんの木材が使われていた。山を動かして、少しでも収入を増や

林業、作業道の管理

北林議員 近年、木材の利活用の研究が進み、集成材加工やCLT、バイオマスエネルギーなどの需

要がわずかずつ増えている。山林だと考えている。村の100年計画、林業成長産業化モデル事業を絡めながら、山の川上の部分、川下の部分について施策を講じ、

その一つとして集住型宿泊交流拠点施設がある。移住・定住も含めて雇用拡大につなげていきたい。

質問

村内外から経営者を募集し

林業経営を考えては

村長

民間の活力に期待

側面から支援したい



【佐藤真二議員】

移住定住政策

佐藤議員 人口問題研究所の将来推計では、村は20年40年に1246人、現在の約半分である。一昨年、人口規模がそれほど変わらない東成瀬村を視察したが、村の活気を肌で感じた。1人でも多く、村出身者や移住者に定住してもらわなくてはならないが、どのように政策を考えているか。

佐藤議員 村の魅力は、何をPRしていくのか。

**雇用の場確保のため、
公設民営の工場等建設を**



武蔵野大の学校祭で村特産品をPR (10月15日)

向け、昨年は東京ビックサ
イトで開催した「JOIN
移住交流・地域おこしフェ
ア」に職員6名を派遣。今
年は7月23日に東京有楽町
交通会館で開催された「東

て村の魅力というのは、環境的には山が宝としてあり、いわゆる自然が宝だと思つている。それをPR、活用しながら村を活性化していきたい。

村長
林業成長産業化地域

間活力を創出するための支援をしていきたい。民間でできることは民間で対応するのがベストであると思つてゐる。

佐藤議員 本来、民間でやつて、それをバックアップするものが理想であるが、小さい町村は殆ど公設で、経営者を募集している。そして、利益を出して、しっかりと村に還元してもらうというやり方をしている。そこには雇用も生まれる。村長の考え方は変わらないか。

佐藤議員 人口減少は大きな問題であるが、働き手となる若者がいなければ村は存続出来ない。若者が一度住んでみたいと思えるような政策は考えられないか。

村長 村には高校や大学がないので、進学にあたつて多くの若者が村外へ出でいく。画期的な政策、若者が必ず増えるという政策は、はつきり言つて全国どこにもないと思っている。地域の特徴を活かしながら産業を興し、雇用を増やさない限りは若者は増えないと思つてゐる。そのために山と自然、そして農業に関わる農作物、秋田県一おいしい「あきたこまち」がとれるので、それらを活用し、それによつて切り口を作つていきたい。

や林業会社などを作り、これから進める集住住宅などを利用して、村内外から経営者を募集するなどといふ

若者を取り込むため
の政策は

議会の動き

来年度以降
100年計画考える

定を考えている」と方針を示しました。

第4回

議員全員協議会

7月13日(木)

協議案件

- ・コミュニティセンターのボイラーアップについて

レジオネラ菌検出で 自主休業

- ・7月の大雪による災害について
- ・コミュニティセンター（山ふじ温泉）について
- ・集住型宿泊交流施設について

第6回

議員全員協議会

10月3日(火)

協議案件

- ・平成29年度一般会計補正予算について
- ・衆議院議員総選挙にかかる平成29年度一般会計補正予算の専決処分報告について

第5回

議員全員協議会

7月26日(水)

協議案件

- ・協議会の冒頭、小林村長は「9月定例会に際し、補正予算の一部について説明不足があり、誤解を招いたことを深く陳謝する」と述べ、林業経営100年整備計画作成事業費600万円を減額した補正予算案を提示し、議会の理解を求めました。

協議会の冒頭、小林村長は「9月定例会に際し、補正予算の一部について説明不足があり、誤解を招いたことを深く陳謝する」と述べ、林業経営100年整備計画作成事業費600万円を減額した補正予算案を提示し、議会の理解を求めました。

小阿仁川水系 対策委員会

10月24日(火)
～25日(水)

青森県西目屋村の津軽ダムを視察し、下流域の環境変化について視察しました。

第6回

臨時会

10月3日(火)

○平成29年度一般会計補正予算

10月22日投開票の衆議院総選挙に関する費用416万円の専決処分のほか、一

林業経営100年整備計画については、林業成長産業化地域創設モデル事業の補助金を活用して作成することとし、補助残の600万円を過疎債で充当する予定でしたが、その過疎債が見込めず自主財源（単独費）で作成したいと9月定例会に提案。議会から事業の財源確保、必要性についても異議を唱える意見が出され、全会一致で否決されておりました。

今後の動向については、



○平成29年度一般会計補正予算の専決処分報告

10月22日投開票の衆議院総選挙に関する費用416万円の専決処分のほか、一
般会計補正予算は3369万5千円を追加し、総額は30億2721万9千円となりました。主な歳出は、財政調整基金積立金1億2590万9千円、農地農業用施設現年発生災害復旧工事費620万円、林道施設現年発生補助災害復旧工事費900万円、公共土木施設現年発生補助災害復旧工事費3100万円、空き家等解体事業の補助金50万円などです。



取水の仕組みについて説明を受ける

今後の定例会日程予定表

区分	会議名	開催年月日	曜日	会期
12月定例会	議会運営委員会	平成29年12月5日	火	3日
	開会	平成29年12月12日	火	
	閉会	平成29年12月14日	木	

小沢田小学校・沖田面小学校が統合し、平成19年4月に上小阿仁小学校が開校しました。それと同時に上小阿仁中学校との併設校として10周年を迎えた。

10月28日、生涯学習センターにおいて、上小阿仁小学校創立・小中併設10周年記念式典や記念集会が行われ、児童・生徒をはじめ保護者や地域の方々など約200人が出席して、10年の節目を祝い合いました。

記念集会では、全校児童生徒による「特色ある教育活動」の発表や合唱が披露されました。

また、10周年記念事業の一つとして、秋田県教育委員会の米田教育長が「ささえよう みんなのふるさと



「ふるさと」を合唱する全校児童・生徒たち

議会を傍聴してみませんか



立派なサクラが見られるよう思い
を込めて植樹する児童生徒たち

児童生徒の提案で、記念植樹が10月18日に行われました。

この日植えたのは、ヤエザクラ3本で、生徒会長の田口京弥くんが「立派な花を咲かせるよう、思いを込めて作業しよう」とあいさつ。児童生徒たちは各班に分かれ、一人ずつ土をかけ、共に成長を願いながら植樹しました。

編集委員会

決算審査が主では、28年度の中一般会計補正予算案は29の年会一致で否決されました。これは、補正予算案審議や財源内訳があいまいで、計画そのものに大きな疑問を持つて判断した結果です。この否決に関して、当局は、あたかも議員に責任があるかのような発言をしていましたが、どうしてあるようですが、どうして村民の生活に影響があるとすれば、直ちに臨時会を招集すべきでした。議長は、責任はあります。議長にあるのです。議会できちんと説明で、物事を進める手法は、いかがなものでしょか。議員の権限、議員の権能を行動・言動は厳しく指導されなければなりません。現在、集住型宿泊施設が急速に建設中です。春にはオーブンとなります。村民の声が反映されるようになります。

ヤエザクラ3本を植樹
共に成長を願う

編集後記